

(仮称)コミュニティふらっと本天沼の整備に関する説明会(令和4年11月19日開催) 主な意見・質問と回答

1. (仮称)コミュニティふらっと本天沼について

①説明会での質疑応答

令和5年2月15日

No.	意見	回答
1	コミュニティふらっとの意義が理解できない。	区では基本構想に掲げたまちの将来像「みどり豊かな 住まいのみやこ」の実現に向け、年齢や障害の有無等にかかわらず、人と人とのつながり・支えあい豊かな地域社会づくりを進めています。 「コミュニティふらっと」は、こうした考えに基づき、子どもから高齢者まで、誰もが身近な地域で気軽に利用できる、世代を超えた交流を促進するための地域コミュニティ施設として整備・運営している施設です。 現在の5施設で実施している多世代交流イベントや多世代が参加できる自主事業は総じて好評を得ており、今後も運営事業者と共に、より一層充実した施設運営を図っていきます。
2	コミュニティふらっとは歩いて行ける距離に整備することだが、具体的に説明してもらいたい。また、今回の本天沼以外に天沼地区内の整備計画はあるのか。	現在の計画では、半径約700mに1か所を目安に、区全体で30～40か所のコミュニティふらっとを整備することとしていますが、今後の整備のあり方は、本年9月頃までに行うこの間の取組の検証を踏まえ、令和5年度に予定する計画改定において、多様な区民等の意見を聴きながら検討していく考えです。
3	今回の本天沼の整備計画は白紙に戻せるのか。	保育施設や児童相談所の整備に影響が生じるため、白紙に戻すことは困難ですが、地域や既存施設利用者の方々との対話を継続して、相互理解を深める必要があると考えています。そのため本天沼の整備計画スケジュールを以下のとおり見直し、改めて意見交換の場を設定していきます。  【見直したスケジュールの例(変更前→変更後)】 ・(仮称)コミュニティふらっと本天沼の開設(令和6年4月→令和6年10月に変更) ・本天沼区民集会所の閉鎖(令和5年3月末→令和5年9月末に変更) ・ゆうゆう天沼館の閉鎖(令和5年10月末→令和6年9月末に変更)※代替期間は不要 ・旧若杉小学校北校舎の民設保育所の移転(令和7年4月→令和8年4月に変更)
4	新しい施設を造る際は合唱や演劇など一定の音を出して活動できる部屋を設置してもらいたい。	ご意見を踏まえ、部屋の窓の二重サッシ化及び部屋の扉の防音化を図り、合唱や演劇など多様な活動に利用できる環境を整えるとともに、近隣への騒音は40db未満(都条例に基づく住宅地における基準値以下)に抑える考えです。また、すりガラスやロールカーテンにより窓のプライバシーに配慮するほか、警察や学校と協議の上、工事期間中の通学路の安全対策を強化していきます。
5	近隣への影響を考慮し、施設の防音・プライバシー対策を強化してもらいたい。また、周辺は児童の通学路であるため、その安全対策はどう考えているのか。	

6	どの部屋でもWi-Fiを利用できるようにしてもらいたい。	現在、公共無線LAN(Wi-Fi)については、杉並区役所、各地域区民センター、各コミュニティふらっと、各図書館のロビー等で、無料にてお使いいただけます。なお、集会施設における部屋ごとのWi-Fi利用については、令和4年11月から実施している各地域区民センターでのWi-Fi機器貸出の利用状況等を踏まえ、今後他施設への拡大を検討していきます。
7	和室がなくなってしまうのか。	コミュニティふらっとでは、多世代の方に広い用途で利用いただけるよう、施設の有効活用の観点から、原則として、和室を洋室化しています。この洋室化に当たっては、「畳マット」を用意することで、現在、和室で活動している方が活動を継続できるように対応していく考えです。
8	広い部屋を造ってもらいたい。	(仮称)コミュニティふらっと本天沼では、1階の増築部分に多目的室を設置します。面積は約60～70㎡、定員は40名となる予定です。
9	1階のラウンジで囲碁・将棋をできるようにしてもらいたい。	(仮称)コミュニティふらっと本天沼のラウンジでは、勉強やちょっとしたおしゃべりなど様々な用途で利用いただく想定であるため、特定の利用者に対して、施設の備品を貸し出すことは適当でないと考えます。そのため、囲碁・将棋盤等の備品については、集会室での貸出備品という扱いとし、ラウンジ利用時の貸出は行いません。備品の貸出をご希望の場合は、集会室等のお部屋をご予約ください。なお、集会室の予約に当たっては、高齢者団体の要件を満たしている場合、高齢者団体としてご登録いただけますと、高齢者団体優先枠での利用の場合は、1団体につき月に8枠（一体使用の場合は2枠という扱い）までは使用料免除となります。
10	これまでのゆうゆう天沼館での活動時間・回数が確保できるのか。	
11	ゆうゆう天沼館での活動が、本当に今回の本天沼に集約できるのか。机上のデータを見るだけでなく、実態を調べてもらいたい	(仮称)コミュニティふらっと本天沼へゆうゆう天沼館の機能を継承するに当たり、コロナ禍前の令和元年度実績を基に、高齢者団体の優先利用枠（1か月当たり1団体8枠）を確保することで、従前の活動に対応できるものと見込んでいました。その上で、ご指摘を踏まえ、改めて直近（令和4年11月）の利用実績によるシミュレーションを行った結果、月の全体利用枠数（672枠）に対し、3施設合計の利用実績は336枠（うち、ゆうゆう館で105枠）であり、相当の余力があることを確認しています。ただし、週半ばの午後や夜間帯を中心に、利用する部屋・時間等が重複するケースが37枠（うち、ゆうゆう館で9枠）あるため、部屋・時間帯・曜日の変更が必要となる可能性があります。
12	狭い施設に3つの施設を集約することには無理があり、不便な施設になってしまう。	このことから、地域や既存施設利用者の方々との対話を継続して、相互理解を深める必要があるため、本天沼の整備計画を、No.3の回答記載のとおり見直すこととしました。今後、改めて意見交換の場を設置し、高齢者をはじめ利用する方々の自立的な活動が、しっかりと継続できるよう、また、より良い施設運営ができるよう取り組んでいきますので、ご理解ご協力をお願いいたします。
13	既存の施設を無理やりコミュニティふらっとに改修するのは、制約が大きすぎるのではないか。	
14	高齢者にとっては、ゆうゆう館のように自分たちが主体となって活動することが生きがいであり、そのことを理解してもらいたい。	

15	ゆうゆう館利用者の活動備品は施設で預かれるのか。	現在のゆうゆう館と同様に、コミュニティふらっとにおいては、他の利用団体も活用でき、保管スペースが確保できる場合は、区へ寄贈いただいた上で貸出備品としていきます。
16	都営天沼二丁目アパートの集会所で、高齢者が世間話やお茶をできるようにしてもらいたい。	都の担当（都営住宅経営部指導管理課）に確認したところ「集会所は、都営住宅居住者を中心にご利用いただいておりますが、地域開放については検討中です。」とのことです。なお、ご指摘の用途は、（仮称）コミュニティふらっと本天沼のラウンジで対応可能となります。
17	フェニックス杉並の地域開放スペースを地域団体等が利用しやすいよう、使用料を区が補助してほしい。	特別養護老人ホームフェニックス杉並にある地域交流スペース「あかつき」は、運営事業者において、行政利用及び地域福祉等を目的とした利用は1回1,000円(税込・3時間上限)という安価な料金を設定しており、他に同様の例も無く、新たな施設等で利用ニーズに応じていけることから、区が補助をすることは適当でないと考えます。
18	本天沼区民集会所の廃止に伴い、現在の委託事業者が雇用している職員が仕事を失うことは問題である。	区では、委託事業者に対し、かねてから計画スケジュールを伝え、委託契約終了後の職員の就労について、本人希望を踏まえて適切な対応をするよう要請しています。なお、 <b>ご意見を踏まえ、改めて区から委託事業者に連絡し、本人希望の聞き取りと今後のスケジュールを調整している旨を確認しました。</b>

②説明会で配布した、ご意見用紙に寄せられた意見等

No.	意見	関連する回答No.
1	この会に出席する前に「ふらっと東原」の自主事業Pタイム（子どもの遊び場としての開放）の子どもの見守りをしてきた。東原児童館がふらっとに改変される時にもこの問題に関わったが、未だに「ふらっと」の存在意義がよく分からない。多世代交流をねらったイベントはあるが、あの場が多世代交流の舞台になっているわけではない。	1-①-1
2	本天沼の区民集会所とウェルファームでお花のアレンジ教室をしている。近所からの生徒ばかりで高齢者も多い。改修工事中、代替え施設が少なくて困っている。遠くの施設まで行きにくい方々もたくさんいる。	1-①-1
3	結論として、コミュニティふらっと本天沼の計画は白紙に戻すのか。あるいは、全面的に見直すのか。	1-①-3
4	保育園の廃止は保護者に話したかもしれないが、ゆうゆう館、天沼区民集会所の利用者には説明がない。後出し、もう計画が動いているから止められないというのは区の問題である。変えられないでは話にならない。	1-①-3
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○若杉小の利用・活用を第一義にすべきである。</li> <li>○説明会を開いたという実績作りにされている。</li> <li>○コミュニティふらっとで若者、高齢者の交流ができるなどという夢は捨てるべき。各々の団体が各々の部屋で活動をしている。サロン等で交流できるわけがない。本気でやるなら高齢者に子どもの面倒を見させる場をつくること。</li> <li>○ゆうゆう館での活動を本当にコミュニティふらっとに集約できるのか、シュミレーションし、結果を文書で示せ。</li> <li>○Wi-Fiはどここの施設でも使用できるように整備するべき。（デジタル化を進める区の施策の最低限のことである。）</li> </ul>	1-①-6 1-①-6 3-①-1
6	茶道で和室を使用している。和室を残してほしい。リフォームなどが出来るのであれば茶道を知っている方の意見も取り入れた部屋を作ってほしい。	1-①-7
7	現在本天沼集会所の和室を月二回利用している教室の責任者である。新しい建物に畳の部屋、和室がないのが心配である。	1-①-7
8	フォークダンス等で足腰を丈夫に保って健康寿命を伸ばしていくためには体育館が必要です。地下に30人程度の体育室ができると嬉しいです。	1-①-8

9	コミュニティふらっと本天沼の説明会に出席した。 説明会資料の18ページの(旧)1階の談話コーナーで机2ヶ、椅子8ヶで囲碁・将棋をやっていた。(木のモニュメントあたり) (新)1階のラウンジで(旧)と同じように囲碁・将棋ができるようにお願いしたい。	1-①-9
10	1階の談話コーナーで机2ヶ、椅子8ヶにより、囲碁・将棋をやってみました。 1階のラウンジでも囲碁・将棋をできるようにしてください。	1-①-9
11	○ゆうゆう天沼館の既存の団体が、皆現在の活動回数で使用できるようにしてほしい。 ○使用時間を午後4時間にしてほしい。 ○ゆうゆう天沼館を閉めて新しい施設ができるまでどこに行けばいいのか。	1-①-10 2-①-4
12	ゆうゆう天沼館の機能継承というのであれば、利用できる時間帯を変え、変な枠をつくるのは違うと思う。ゆうゆう館の機能はそのまま継承してほしい。説明会が遅すぎる。報告会になっている。	1-①-10 5-①-2
13	利用室数が少なくなるので不便になる。なんとかできないか。	1-①-12
14	都営天沼二丁目の近隣に住んでいるが、お年寄りがフラッと寄って世間話やお茶をするところがありません。都の集会所を区の施設として使用できるようにならないのでしょうか。	1-①-16
15	杉並区の施設管理受付業務をしてきた委託会社の雇用を保証してほしい。	1-①-18
16	区が委託する会社で働く人を、直接雇用ではないから、と切り捨てるのではなく、雇用を保証してほしい。 会社への指導のみではなく、きちんと雇用の継続を考えてほしい。	1-①-18
17	雇用を守ってほしい。	1-①-18

## 2. 現在のゆうゆう天沼館について

### ①説明会での質疑応答

No.	意見	回答
1	ゆうゆう天沼館を存続してもらいたい。	<p>保育施設や児童相談所の整備に影響が生じるため、白紙に戻すことは困難ですが、地域や既存施設利用者の方々との対話を継続して、相互理解を深める必要があると考えています。そのため（仮称）コミュニティふらっと本天沼の整備計画スケジュールを次のとおり見直し、より良い運営となるよう、改めて意見交換の場を設定していきます。</p> <p><b>【見直したスケジュールの例（変更前→変更後）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（仮称）コミュニティふらっと本天沼の開設（令和6年4月→令和6年10月に変更）</li> <li>・本天沼区民集会所の閉鎖（令和5年3月末→令和5年9月末に変更）</li> <li>・ゆうゆう天沼館の閉鎖（令和5年10月末→令和6年9月末に変更）※代替期間は不要</li> <li>・旧若杉小学校北校舎の民設保育所の移転（令和7年4月→令和8年4月に変更）</li> </ul>
2	保育園の計画ありきで、ゆうゆう館利用者は追い出されたように感じる。	
3	老朽化と言うなら、先に手を付けるべき施設があると思う。	
4	ゆうゆう天沼館はいつまで利用可能か。また、代替施設は、いつ、どのように設置してもらえるか。	<p>上記のスケジュール見直しにより、ゆうゆう天沼館は代替期間を設けずに、（仮称）コミュニティふらっと本天沼に機能を継承することが可能となります。なお、健康麻雀は、（仮称）コミュニティふらっと本天沼においても、現状のとおり（6卓）利用いただくことができます。</p>
5	休館中の代替施設でも、健康麻雀ができるようにしてもらいたい。	
6	ゆうゆう館の運営委託後は、利用者よりも行政使用が優先されているように感じる。	<p>ゆうゆう天沼館における行政使用は三療サービス（月2回程度）のみで、このほか運営事業者は協働事業を実施しています。今後とも、高齢者団体による利用との調整を図りながら実施するよう、運営事業者に伝えていきます。</p>
7	ゆうゆう館跡地に建つ保育園に、ゆうゆう館を併設できないのか。	<p>現在の天沼保育園は園舎・園庭とも手狭な環境で保育を行っていることに加え、旧若杉小から移転してくる保育園は定員113名であり、現在より12名増となります。また、必要な園舎及び園庭の面積を試算したところ、最低限度の保育環境を確保するには、園庭約315㎡、園舎（延べ床面積）約755㎡が必要となり、これらの面積を確保するためには、ゆうゆう館との併設は困難です。</p>

②説明会で配布した、ご意見用紙に寄せられた意見等

No.	意見	関連する回答No.
1	高齢者の心のよりどころのゆうゆう館をこのまま存続させることを望む。	2-①-1
2	天沼ゆうゆう館はいつまで利用可能か。代替施設は、いつどうなるのか。これを知りたくて参加した。説明資料は後ページから説明してほしい。これができないと皆様が不便になるよ、というトーンで書かれていた。分かりにくい資料であった。	2-①-4
3	区が委託している会社は区に世話になっていると思い、区の考え方を優先している。ゆうゆう館が民営委託になる前は、集会室は区民が先、区は後に予約をすることになっていた。民営委託したあとは、区が優先して予約している。本天沼ゆうゆう館、特に本天沼集会所は、受付が地域の人のことをよく考えてくれている。	2-①-6
4	ゆうゆう館は60年近く前から高齢者が元気に生活できるようにするためのすばらしい存在だと思う。何より介護を受ける時期を少しでも遅れさせる大事な居場所である。親族は92歳まで通っていて、幸せな人生だった。是非今後も続行できるように祈っている。医療費、介護費などを考えても、国・自治体にとって良い話だと思う。	-
5	時間が過ぎたのにも関わらず、最後の方の意見まで聞いてもらえてよかった。できないことの方が多いかもしれないが、再度検討してもらえるとうれしく思う。	-

※「関連する回答No.」に該当がないご意見につきましては、参考意見とさせていただきます。

### 3. 旧若杉小の跡地活用について

#### ①説明会での質疑応答

No.	意見	回答
1	旧若杉小の跡地は有効活用すべき(※)であり、売却はしないでほしい。 (防災施設、文化・芸術の場、保健所等)	現在、旧若杉小学校につきましては、保育室若杉、パピーナ荻窪天沼保育園、重症心身障害児通所施設「わかば」、さざんかステップアップ教室荻窪教室などで暫定的に活用しております。消防法の規制などから、現在の利用に加えて新たに教室を活用していくには課題がある状況です。暫定活用におけるこれらの施設についても、今後の本格活用を見据えて、移転先が決まっていない施設については移転先の確保に向けた検討を進めております。今後の本格活用の検討や保育施設移転後の活用につきましては、地域の皆さまの声を丁寧に聴きながら進めてまいります。なお、現時点で旧若杉小学校を売却する考えはございません。

#### ②説明会で配布した、ご意見用紙に寄せられた意見等

No.	意見	関連する回答No.
1	若杉小学校跡地の利用方法として、校庭は防災施設として、校舎は演劇や音楽など音の出る利用に開放するなど、区民が使いやすい杉並の文化・芸術の活動の拠点として利用できるように検討してほしい。	3-①-1
2	若杉小の跡地は建物を生かして利用料を安くし、他区と同じように芸術家のワークスペースや演劇の練習場にしてほしい。	3-①-1
3	○若杉小には科学館を建てるという計画もあったそうだが、結局は杉四小に箱だけ確保し、中身はレンタルの展示と場所貸しになる、とのことで残念に思っている。若杉小は駅から近く広いスペースであるので、売却してしまうのではないかと心配している。 ○児童館を失くす計画を見直すのであれば、児童相談所の場所についてももう一度見直してほしい。区役所近くに整備する児童相談所は、阿佐谷南児童館も入っているが、当該児童館は廃館になると聞いている。 ○学校に児童館を入れる方向も考え直してほしい。学校にずっといなければならぬ小学生がかわいそうと思うが、その方が良いという親もいるので、どちらも選べたら良いと思う。子どもには色々な場所が必要である。 ○とても良い会だった。またこのように意見を言える場を作ってほしい。	3-①-1
4	この地域の施設整備が終わった後の旧若杉小の利用に関して質問する。保育室やパピーナが出たあとの旧若杉小の利用に関しては区長はどう考えているのか。現状の震災救援所としての機能がなされていないことを理解していただき、区長には一度若杉小の現在の姿を見に来て、話し合いを持ってほしい。聞く力を全面に押し出す区長には実現してほしい。	3-①-1

5	<p>○旧若杉小の利用を考えてほしい。          ○ゆうゆう館を利用していた人のことを考えてほしい。コミュニティふらっとは狭い。          ○天沼小学校が狭くて子どもがかわいそうである。</p>	3-①-1
6	<p>目先のその場繕いで事なかれ主義である。新しい事業は大変だということが見え見えだと感じている。利用者との話し合いが必要だと思う。旧若杉小学校卒業者であるが、若杉小の今後が心配である。</p>	3-①-1
7	<p>利用グループ毎に使用物品を置くスペースを確保していただくとありがたい。          以前ソーインググループに所属していたが、その折ミシンがなく不便だった。寄付の申し出もしたが、置くことは許されなかった。          責任問題等もあるので大変なこととは思いますが、利用者は高齢であるので、利便性について細かい配慮をお願いしたい。          若杉小跡地の話が多く出たが、夫・子が杉五小卒業、孫が天沼小である。若杉が杉五小に統合されるときも疑問だったが、更に手狭になってきた。子の運動会は校庭の狭さにびっくりし、保育園かと思った。今から若杉小に小学校をつくり、天沼小を別途使用することはできないのか。子どもたちこそ大きい校庭を欲していると思う。天小への移転は失敗だったのではないかと思うが、今戻すことは可能だと思う。</p>	1-①-15 3-①-1

## 4. 区立施設再編整備計画について

### ①説明会での質疑応答

No.	意見	回答
1	杉並区の施設は、他区に比べて利用料が高い。無料・安価で使える施設を作してほしい。	施設使用料については、他自治体の調査や区民アンケート等を実施し、令和5年度の見直しに向けて検討を行う予定です。
2	施設再編計画は誰のための計画なのか。区民から要望があったものなのか。	区立施設再編整備計画は、全国共通の課題である公共施設の老朽化や施設に対する区民ニーズの変化などに加え、少子高齢化の一層の進展や、人口構成の変化による生産年齢人口の減少など、区を取り巻く環境の変化等を見据えて、区立施設の安全性の確保、持続可能な財政運営、新たな行政需要への対応を図るために策定したものです。区民の共通の財産である区立施設を将来に向けてどのようにしていくのかを定めた計画です。 なお、今後は、これまでの取組などについて改めて検証・検討し、令和5年度に実施予定の計画改定の中で新たな方針を決定していく考えです。 検証・検討に当たっては、区民の声を幅広く聴きながら取り組んでまいります。
3	既に計画が動き出しているから止められない、というのは区の都合であり、納得がいかない。住民の声を反映した計画してほしい。	○区長の公約等を踏まえ、施設再編整備計画で定めた取組の内、児童館、ゆうゆう館に関する取組については、一旦立ち止まるというスタンスを原則として、事業を止めることが可能かどうかを検討してまいりました。 ○天沼・本天沼地区のこの取組につきましては、保育園等関係者への影響や、喫緊の行政課題である区立児童相談所の整備に影響が及ぶことなどから、計画どおり進めていく必要があると判断したものです。 なお、事業を進めるに当たっては、可能な限り皆様の声を反映してまいりたいと考えております。
4	児童館の廃止を見直すのであれば、阿佐谷南児童館を廃止して児童相談所を整備する計画も見直してほしい。	○区立児童相談所の整備につきましては、児童の生命に係る課題である児童虐待対策の実施、強化という喫緊の行政課題に対応するためのものであることや、施設の特性を踏まえて区役所や警察署が近くにある阿佐谷南児童館等の用地が最も適した整備場所であることから、計画どおり進める必要があると判断したものです。 なお、今後の子どもの居場所のあり方については、これまでの取組の検証を踏まえ、検討してまいります。検証・検討に当たっては、区民の声を幅広く聴きながら取り組んでまいります。
5	小学生の放課後の居場所について、学内と学外の児童館どちらを利用するか、保護者が選べるようになればいいと思う。	区では今後、これまでの児童館機能再編の取組を検証した上で、子どものより良い居場所の方向性について、検討を行うことといたしました。この検討に当たっては、ご指摘いただいた視点も踏まえつつ、利用者や地域の方々のご意見を伺いながら行ってまいります。

6	計画を決定する際は、区民の代表を入れた委員会を設けてほしい。	区立施設再編整備計画については、今後、区民の声を幅広く聴きながら、改めて検証・検討し、新たな方針を決定していく考えです。検証等に当たっては、計画策定における区民意見の反映方法等についても検討してまいりますので、ご意見については参考とさせていただきます。
7	あんさんぶる荻窪、天沼区民集会所と、次々に施設を廃止しているが、施設の廃止ありきの計画はやめてほしい。	区民の思い入れのある区立施設の廃止が、皆様に多大な影響を及ぼすことは認識しております。区立施設の再編整備については、その時々施設の需要に対応するために取組を進めることも一つの目的としています。決して、施設の廃止ありきで取組を進めているわけではなく、全体的・長期的な視点に立って、様々な行政需要に適切に対応するために施設の廃止が必要となった場合には、その選択をしています。将来にわたって区立施設におけるサービスを安定的に提供していくため、今後も様々な手法を活用しながら、再編整備に取り組んでいく考えですが、今後は、これまでの取組などについて改めて検証・検討し、令和5年度に実施予定の計画改定の中で新たな方針を決定していく考えです。検証・検討に当たっては、区民の声を幅広く聴きながら取り組んでまいります。
8	待機児童ゼロ継続のために移転するというが、定員数の確保がそこまでして必要なのか。	保育施設の定員充足状況については、例えば令和4年10月現在の1歳児クラスについて見ますと、区全体では定員2,632名のところ空き定員は12名、天沼保育園の所在する（区を14地区に分割した）荻窪北地区では定員241名のところ空き定員は1名となっており、いずれも空き定員に余裕はありません。こうした状況も踏まえ、待機児童ゼロの継続のために、移転による定員数の維持は必要であると考えております。
9	天沼会議室別館も老朽化していると思うが、今後、この施設はどうなるのか。	天沼会議室別館は、昭和41年に建築された建物で、ご指摘のとおり施設の老朽化が進んでいます。現在は、一時的な区の物品置場として活用していますが、今後の有効活用策について地域の方のご意見を伺いながら検討していきたいと思っております。

②説明会で配布した、ご意見用紙に寄せられた意見等

No.	意見	関連する回答No.
1	区の施設は区民の財産であり運営も税金で行われている。区民が望んだ施設再編であるなら文句もないが、今進められている計画は誰のための誰の要求によるものなのか。利用料の高さについても他区に比べ納得のいかない金額、税金の二重取りではないか。老朽化で建て替える度に民営化されることも納得できない。	4-①-1 4-①-2

5. 今日の説明会、その他について

①説明会での質疑応答

No.	意見	回答
1	ゆうゆう館、区民集会所の利用者への計画の周知が不十分である。説明会が遅すぎて報告会になっている。	区立施設再編整備計画につきましては、令和3年11月に荻窪地域への説明会を実施させていただいておりますが、十分に周知が行き届いていなかったことについて、お詫び申し上げます。 今後のゆうゆう館、区民集会所といった施設利用者への計画周知に当たっては、施設窓口への資料設置等を実施し、計画段階から案をお示しし、周知を図ってまいりたいと思います。 また、今回の（仮称）コミュニティふらっと本天沼の整備に関する説明会に当たっては、区長の公約等を踏まえ、施設再編整備計画で定めた取組の内、児童館、ゆうゆう館に関する取組については、一旦立ち止まるというスタンスを原則として、事業を止めることが可能かどうかを検討してまいりました。こうした調整を図った結果、今回の日程での開催となりました。
2	話し合いの場を複数回設けてほしい。ワークショップを開くなどして、設計・施工まで区民の声を聴いてほしい。	令和5年2月現在、（仮称）コミュニティふらっと本天沼の設計に関しては、建築基準法に基づく手続きを行うため、ご意見をいただいても、それを設計に反映させることが難しい段階となっています。なお、施設の運営等に関しましては、今後とも必要に応じてご意見を伺う機会を設けていきたいと考えております。
3	意見を言える場があつてよかった。このような取組は継続して実施してほしい。	区としても、こうして直接に意見を伺える場を今後も大事にしていきたいと考えております。 また、今回は、説明会でのご意見を受けまして、多目的室の防音性能の向上や団体の活動備品の預かり等について対応いたします。
4	スライドの上映画面が見づらい。資料がわかりづらい説明会だった。レジュメの閉じ方がおかしい。	上映画面につきましては、見づらい部分がありご不便をお掛けしました。また、レジュメの綴じ方につきましては、ご指摘も踏まえて、今後は見やすいように配慮します。
5	説明者席に座っている管理職が男性ばかりで残念だった。	区では、杉並区職員ワーク・ライフ・バランス推進プランに基づき、令和7年度までに管理職の占める女性職員の割合を30%にする目標を掲げ、女性管理職を増やすよう取り組んでおります。

②説明会で配布した、ご意見用紙に寄せられた意見等

No.	意見	関連する回答No.
1	二回目の話し合いの場をつくってほしい。保育園の計画ありきで他施設、ゆうゆう館の廃止を進めないでほしい。	5-①-2
2	複数回会を設けてほしい。	5-①-2
3	説明会を一回開いただけで説明がされたとは思わないでください。 本来なら計画の案を作る前に利用者や近隣住民と十分な意見交換をするべきです。 当日も様々な意見が出て時間も大幅にのびたわけですからみんな納得はしていませんので再考を検討してください。	5-①-2
4	参加者の意見が色々あることが分かり良かった。若い住民も意見を言える、コミュニティになる施策で、杉並区がいい街になるよう区長、区役所の皆様には頑張ってほしい。	5-①-3
5	ヒアリングは大変いい取組である。継続して実施してほしい。区長がんばれ。	5-①-3
6	○説明会に岸本区長が出席して住民の声を真っ白な状況で聞いてくれたのはとても良かった。 ○舞台上のプロジェクト上映画面はもったいないと感じた。「見せよう」とする姿勢が全く感じられなかった。 ○レジュメの閉じ方がおかしい。	5-①-3 5-①-4
7	課長以上の職員が全員男性であるのが残念だった。ジェンダーの観点からすれば、杉並は大変遅れていると思う。 施設を利用している人・団体の実態をもっと知ってほしい。2つ以上部屋を借りる場合も多い。無料・安価で使える施設を作ってほしい。 旧若杉小が使えない状況とは知らなかった。使い方はみんな決めてたい。	5-①-5
8	岸本区長を見にきた。いい加減な動機でしたが大変面白かった。色々な意見の人がいて区の人でも大変だが頑張ってほしい。万人が納得することはできないので、民主主義は難しい。	-
9	計画ありきでなく十分「住民の声」を反映した計画・実施となるよう、区幹部と区長と連携して区民主体の区政運営をしてほしい。	-
10	岸本区長の区民に対する気持ちが伝わってきてとてもうれしい。これからもよろしくお願いします。	-

※「関連する回答No.」に該当がないご意見につきましては、参考意見とさせていただきます。

## 6. 岸本区長から（説明会を終えて）

- ・本日は長時間にわたって説明会にご参加いただきありがとうございました。職員を代表してお礼を申し上げます。
- ・皆さんのお話を聞いて、基本的には全て持ち帰って検討することにした。
- ・自分としては、高齢者には場所が必要だと考えている。
- ・施設の稼働率が低いということで議論を進めてきたが、数字の出し方については、施設を減らしたいという行政側の論理ではなく、利用者の目線で考えなければいけない。
- ・音の問題については、建物の改修の仕方では解決できることがあるのではないかと考えている。
- ・旧若杉小についても早い段階から多くの人に関わって、地域に必要なものを、皆で考えていくプロセスが大事である。
- ・今日の説明会で何よりも素晴らしいと思ったのが、利用者の目線から具体的な話が聞けたこと。その基礎となる考え方というのは、建物の機能だけではなく、価値や歴史が積み重ねられているということ。
- ・今日は具体的な提案をたくさん頂いた。全てのことを叶えることはできないと思うが、できるだけ実現に結び付けられるように頑張りたいと思うので、注視してほしい。
- ・この天沼地域における取組が他の地域の良い例となるように頑張っていきたい。よろしくお願いします。